



スクールパックでは、臨時時間割・行事等に対応する調整機能と、複雑な時間割や大規模校で便利な機能が追加されています。併設校・総合高校等だけでなく、小学校・中学校・普通高校での採用も増えています。

スクールパックは、標準版と比較し、以下の点が追加されています。

- 標準版より高機能な本体プログラム(臨時時間割対応等)
- 時間割閲覧ソフト付属・ライセンスを2組追加(合計3個)

● 本体プログラム：スクールパック独自の追加機能

時間割変更・臨時時間割に役立つ機能

● AI一覧表示の追加機能

- AI一覧表示の右クリックで「駒書き換え」「削除」「同じ駒の追加」「追い出し振替提案」が利用可能
 - 試験直前の単位調整等、臨時性の高い変更役に役立ちます。
- 関連情報・指定情報を一覧形式で表示
 - 選択した駒と関連する情報や、任意の情報を一覧で表示できます。
- 補助一覧表示で、別ウィンドウに補助の一覧を表示
 - 関連する先生・教室や離れたクラス等を表示して活用します。

● 駒はずしの対象選択肢の追加

- 「曜日」と「時間」を指定して駒はずし
 - 行事や臨時時間割等の作成時に、作業時間を短縮できます。

● 行事の簡単設定

- 行事をウィザード形式で設定
 - 行事設定後に、AI機能で調整後、残り駒を削除します。

● 授業・選択授業の変換・選択授業マージ・クラスの同時展開化

- 文理混合クラス、特別支援学級の通級などの設定に役立ちます。
- 通常授業と選択授業を相互に変換
- 二つの選択授業を指定して統合
- 指定クラスの授業を他のクラスの授業と同時展開に

● 半休全休の簡単設定

- 「半休」(午前・午後)・「全休」を曜日・時間を指定せずに回数設定
 - 日時を固定しない休暇や研究日に対応します。

スクールパック専用オプション

- 授業設定で先生と教室が空白でも、駒入れ対象とする。
 - 先生や場所が未定の段階でも時間割作成を進めることができます。
- 駒入れオプション全解除の際、全個別オプションを無視する。
 - 条件の厳しい臨時時間割等の作成時に臨機応変に対応できます。
- 駒をシフトキー+ドラッグで1時間単位に分割します。
 - 1時間単位に教室変更可能で授業データにも反映されます。
 - 残り駒も同様な操作で駒分けが可能です。
- クラス・科目単位に配置を固定するマスクを設定できます。
 - 設定したクラス・科目が駒移動の対象からはずれます。
- 教室一覧でドラッグドロップ時に、空き教室を明示
 - 右図「教室」の表示で3-3クラスの調理室をドラッグすると、技術室は使用中、家庭科室が空いていることが明示されます。
- 移動提案時に教室から押し出す駒の指定
 - 複数の駒の中から、押し出したい駒を指定できます。
- 関連情報表示を一覧形式で行う
 - 駒の関連情報を一覧(黒板)形式で表示できます。
- 駒入れオプションを曜日で制御する
 - 駒入れオプション(全体)の適用を曜日単位に(数値)指定します。
- 追い出し振替提案
 - 指定した条件の駒が戻らない「追い出し振替提案」を行います。
- 指定情報一覧表示設定を開く
 - 選択したクラス・教室・科目・先生を関連情報表示に表示できます。
 - 4パターンの設定と同時表示に対応し、複数の条件や視点から効率的に時間割を把握できます。

AI一覧表示(例:クラス一覧)

補助一覧表示(例:先生一覧)

クラスの同時展開化(指定クラスの授業を他のクラスの授業と同時展開に)

駒分け(1時間単位に分割)

AI一覧:教室 ドラッグドロップ時 空き教室明示

追い出し振替提案

全体オプション(スクールパック)

先生が未設定の選択授業例

クラスマスク設定例:1-Aに 関連する駒をマスク

指定情報一覧表示設定

選択授業の内容一覧表示

- 選択授業の内容を確認し管理する事ができます。
 - タイル表示 選択授業名と配置された時間をグラフィック表示
 - 属性表示 選択授業名・単位数・先生・クラス・科目・教室・授業IDを文字表示。横長サイズで長い名称も表示。
- 「先生」「科目」「クラス」「教室」順に並べ替えが可能
- 詳細画面への連携もしています。

属性表示

ダブルクリックで詳細画面へ

タイル表示

時間割データ 結合・分割・連結 一括入替え

結合入替ツールはスクールパック本体に統合されました。一手戻しも可能です。

時間割データ結合
 多人数で分担入力した授業データを一つに合体する機能で、先生・科目の多い学校で役立ちます。分担の単位は、学年や科目毎など自由に決められます。操作はファイルを指定する簡単な作業です。結合の際に重複がある場合はメッセージ表示します。

一括入替え
 行事などで、学校全体で時間割変更する場合に利用します。時間割データを読み込み、曜日や時間を指定して学校全体で駒交換します。

時間割データ分割・連結
 2週間単位の時間割を週単位で分割・連結し、連続して1週間未来の授業を振替対象にします。1週間経過後に第1週のデータを分割機能で過去週として切り離し、第2週に第3週のデータを連結して、振替対象とします。

